



道しるべ

第33号
令和元年9月

長崎大学大学院工学研究科 インフラ長寿命化センター 道守養成ユニット事務局

安全確認！

道路見守り隊！（5月18日、7月13日道路清掃活動）

5月、7月と長崎県道路愛護団体「道守養成ユニット長崎地区」による道路見守り活動（清掃パトロール）を行いました。

5月18日（土）には36名（うちお子様4名）と、小雨の天候にも関わらず多くの方に参加して頂きました。また、長崎新聞と長崎建設新聞の記者さんや長崎大学の学生さんもお参加頂き、清掃活動の終わりに、中原先生よりご講評も賜りました。



7月13日（土）には、28名（うちお子様2名）の方にご参加頂きました。この日もあいにくの雨模様となり、傘を差したり雨カッパ着用での清掃活動となりました。それからこの日は、お久しぶりのバーベキューを行いました。長崎大学の学生さんが焼いてくれた焼肉や焼そば、とってもおいしく大盛り上がりでした！準備を下された皆さん、ありがとうございました。



今後も楽しく活動していきますので、皆様のご参加お待ちしております！

（事務局 三浦）

「道守養成ユニットの会」通常総会を開催

2019年度道守養成ユニット通常総会が6月27日14時から長崎大学文教スカイホールで開催された。吉川会長の開会挨拶の後、議長選出がなされ、会場からの推薦で三根副会長が選出された。議長から、256人の会員登録者のうち、当日出席が77人、委任状が70人で、出席総数は定足数の過半数越えの計147人で、本日の総会は成立していることが報告された。

議事に入り、次の6議案が審議された。

(1) 役員の改選について

道守養成ユニットの会の役員(会長、副会長、理事、監事)の任期は2年となっているが、立ち上げの時期であることから全員の再任案が提案され、承認された。

(2) 会員動向(地域別会員数、新規入会者、退会者)について

4月以降に入会した計14人が新規入会者として承認され、道守認定の取り消し及び会費未払いによる退会12人が承認された。地域別の会員数は、長崎101人、佐世保56人、県央47人、島原20人、上五島16人、下五島11人、対馬12人、壱岐7人である。

(3) 平成30年度報告について

平成30年度活動報告として、会としての活動と各地域部会の活動報告がなされた。平成30年度は新たに現場見学会が実施されるとともに、佐世保地域と壱岐地域で新たな活動が始まったことが報告された。

(4) 平成30年度会費の納入状況及び会計報告について

平成30年度の会費納入状況として、804,000円の納入があり、納入率は94%であること、また、平成30年度の支出は726,415円であることが報告された。監事より監事監査の結果、会計報告に記載のとおり、適切に会計処理されていることが報告された。審議の結果、平成30年度の会計報告は原案どおり承認された。

(5) 2019年度活動計画について

資料に基づいて、2019年度活動計画が説明された。昨年度よりも地域部会の活動が増えており、佐世保地域では道守フォローアップ研修(橋梁点検)が新たに計画された。現時点での計画に加えて、長崎地域以外の地域で活動計画が決まったら、事務局に連絡して欲しいとの依頼がなされた。2019年度活動計画は原案のとおり承認された。総会終了後には、地域ごとに会員が集まり、活動についての話し合いがなされた。

(6) 平成30年度予算案について

資料に基づいて、2019年度の予算案が説明された。2019年度の収入は会費収入と前年度繰越金を含めて、1,458,000円の見込みである。支出は、管理費310,000円、地域経費250,000円、運営管理費120,000円の計680,000円の見込みである。予算案は、原案のとおり認められた。その後、事務局から、2019年度会費納入について、8月30日までをお願いしたいという依頼があった。

役員紹介をもって総会は終了したが、認定者に十分に徹底されていないと指摘されている道守の更新条件の説明がなされた。

最後に、**エイエイオー！！**の掛け声のもとに集合写真を撮影して、通常総会は終了した(高橋)。



報告会参加者集合写真

特別講演会及び道守養成ユニットの会活動報告を開催

6月27日に開催された道守養成ユニットの会通常総会の後に「特別講演会及び道守養成ユニットの会活動報告」がインフラ長寿命化センターの主催、道守養成ユニットの会の共催で文教スカイホールにおいて開催された。170人を上る、道守養成ユニットの会会員、建設・設計業関係者、国・自治体職員、一般市民らが参加した。

報告会の冒頭で、道守養成ユニットの会会長吉川國夫氏による開会挨拶と国土交通省九州地方整備局長崎河川国道事務所本田卓所長による来賓挨拶がなされた。

活動報告として、道守養成ユニットの会事務局長山本尚次氏による「平成30年度道守養成ユニットの会活動報告」がなされた。次に特別講演「点検業務へのロボット×AIの導入への取組み」が土木研究所技術推進本部先端技術チーム上席研究員新田恭士氏によってなされた。橋梁点検業務効率化のためのロボット技術を中心とした新技術導入に向けた国土交通省の施策展開、インフラ点検の未来像と課題、AI開発導入環境の整備について、具体的な説明がなされた。新技術の導入・活用が目前であることを関係者に認識してもらう良い機会になった。

休憩を挟んだ後は、講演「定期点検要領の改訂等について」が九州地方整備局長崎河川国道事務所総括保全対策官南部祥隆氏によってなされた。国土交通省の老朽化対策の取組みの現状、定期点検要領の改定のポイントが橋梁を中心として説明された。道守認定者にとっては大変参考になる講演であった。

最後に、インフラ長寿命化センター長松田浩教授の閉会挨拶をもって報告会は盛況のうちに終了した。

(高橋)



新田氏による特別講演



南部氏による講演



特別講演会の様子

ME 山口の2019年度(令和元年度)総会・フォローアップ講演会に参加して

期日 令和元年7月5日(金) 14:00~17:00

場所 山口市湯田温泉 3-1-1 翠山荘

ME 山口の会は、2019年1月30日に発足し、今年度から本格始動となります。

そのタイミングでの総会・フォローアップ講演会への参加の呼びかけに呼応して出席し、「08 観光ナガサキを支える“道守”養成ユニットと共に歩んだ10年」の講演を行いました。

道守養成ユニットの会との相違点は、会長1名(県職員)、副会長1名(県内コンサル職員)、理事8名中4名(宇部市・岩国市・美祢市・周南市建設課職員)、2名(建設会社職員)、2名(県内コンサル職員)、監事1名(山口大学工学部准教授)の構成で官側5名、産側5名、大学1名とバランスを得ていることです。

総会に出席して皆さん気力が横溢されて熱気が伝わる場面も多かった記憶もあり、さらに片山英資氏(一社)ツタワールドボク 代表理事)による『共Do~技術と広報は両輪だ!』講演で最高潮に達しました。



ME山口においては認定者 96 名中 60 名の入会 63%、長崎道守養成ユニットの会においては 342 名中 230 名 67%と同様な傾向があり、入会しない理由としては参加する動機と必然性が感じられない……。

理由はどこからでも生じてくるもので、大学でインフラ点検技術と劣化のメカニズムを学んだ初心を忘れてしまっているのかも知れません。

社会のネットワークの中で居場所を見つけて、仲間ときちんと役割を果たして自尊心と達成感・幸福感に包まれて快活に考え行動すれば自然と愉快になると思います。

(道守 吉川 國夫)



フォローアップ講演の様子



片山氏による特別講演



佐世保地域部会 橋梁点検フォローアップ研修会

チーム 佐世保
がんばってます!

令和元年8月2日に道守養成ユニットの会として初めてとなる「橋梁点検フォローアップ研修」を佐世保市土木部の協力を得て、赤崎陸橋をフィールドに実施した。参加者は、佐世保地域部会員だけでなく、県央や長崎地域部会より会員23名が参加(そのうち橋梁点検未経験者は9名)。

研修内容としては、赤崎町一組公民館において点検の方法等の説明を行った後、3班に分かれて現地点検を行い、地上からの目視点検に加えて高所作業車を用いた桁下の近接目視点検を行った。点検後は各自点検シートの取りまとめと佐世保市職員から詳細点検結果や補修計画などの説明を頂きました。

この研修では、実際の橋梁点検業務に携わる機会のない会員の技術力の向上を目指すとともに、経験者においても多様な立場の人たちと対話しながら、橋梁点検の技術を再認識したり、新しい知識を広めたりすることが出来たと思います。



高所作業車を用いた桁下の近接目視点検

今後は、個人のスキルアップに留まっている会員活動を改め、「インフラを自分たちで守る！」を目的とし、その成果を共有する「チーム」として道守養成ユニットの会の魅力を高めて行きたいと思えます。

最後に、開会あいさつの松田教授、閉会あいさつの高橋名誉教授ならびに準備に協力していただきました事務局の吉田様に心より感謝いたします。

(佐世保地域部会長 三岳 誠)



佐世保市職員による点検結果の報告

編集後記～ふつつか者ですが、編集させていただきました～

“道守”～地方の道をいかに守っていくか～ ⇐ 素敵な言葉ですよ～！

“道守”の活動は、テレビで見たことがあり、以前から知っていました。

今回ご縁がありまして、4月からセンターでお世話になっております「守屋」でございます。まったくもって工学系ではありません…。

皆様には、道守認定者の活動や更新等のお知らせなどをさせていただきます。火曜日～木曜日(週3)のみ勤務です。そうそう、メールの返事はすぐにいただけると助かります☆ので、お願いいたしますね。

ふつつか者ですが、どうぞよろしく願いいたしますく(_)>



Mr. T

問合わせ先

長崎大学大学院工学研究科 インフラ長寿命化センター 道守養成事務局

〒852-8521 長崎市文教町1番14号 TEL 095-819-2880 FAX 095-819-2879

Mail: michimori@ml.nagasaki-u.ac.jp

【インフラ長寿命化センターHP】

<http://ilem.jp>



【Facebook】

<https://www.facebook.com/ilem.nagasaki>



発行 2019.9.30